

英語

個別配慮

名前 _____

仮定法(If I were ～・I wish ～)

_____ 月 _____ 日

日本文に合うように、正しいほうを ○ でかこみましょう。

(1) もし私が先生だったら、英語を教えるのに。

If I (am ・ were) a teacher, I would teach English.

(2) もし私があなただったら、グリーン先生にたずねるでしょう。

If I (were ・ am) you, I would ask Ms. Green.

(3) 彼女の住所を知っていたらいいのに。

I wish I (know ・ knew) her address.

(4) もし私が大人だったら、東京に住むのに。

I would live in Tokyo if I (were ・ am) an adult.

(5) もし私がいそがしくなかったら、その試合を見られるのに。

If I were not busy, I (could ・ can) watch the game.

